



## 狙った魚は逃さない 凄腕フィッシャーマン

有限会社土屋水産 清栄丸

林 誉人さん(37歳)

有限会社土屋水産は昭和30年に創業し、銚子などの沖合で魚を網で囲い込む2そうまき漁法によりマイワシなどを漁獲する大中型まき網漁業の網元です。大震災による津波の被害を乗り越え、脂の乗った旬の魚を市場に供給する、魚食文化と豊かな海の資源を守る会社です。

### ——どんな仕事をしていますか

船に乗って沖に出て、魚群探知機やソナーを駆使して魚を獲る仕事をしています。風向きや風力、潮流などを見て、魚のいる所を予想して網を張ります。大漁だったときには、とてもうれしくやりがいを感じます。岩礁などに漁網が引っかかって破れてしまったときは、船上で網の修理をしなければ漁ができないため、漁網の巻き取りや取り扱

有限会社土屋水産  
清栄丸

所在地／旭市椎名内3199  
電話番号／62-0711

いには気を付けています。海が荒れて出港できないときは、漁網の修繕などの仕事もしています。

### ——漁師になろうと思ったきっかけは

漁師をしていた父親の働く姿に憧れて、同じ道を選びました。自然を相手にするので、時間は不規則なところもありますが、魚群に当たれば短時間で終わり、実はガッチリ稼げる仕事なので、家族や趣味などの時間を大切にしたい人には、とても向いている仕事だと思います。

### ——今後の抱負は

漁師不足や魚食離れなど、漁業を取り巻く環境は社会問題になっています。漁業の活性化のために、たくさんの魚を獲って、新鮮でおいしい海産物を食べてもらい、漁師を目指す若い人たちが増えるよう、海の資源と漁場を守ってきたいです。一緒に海へ出て朝焼けの大海原を見ませんか。



新鮮な魚に、はじける笑顔



大漁の魚を陸揚げ